十二日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町壱
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町壱　印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町壱　發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行壱字詰金五十錢
▲日（日曜、祭日）休刊

德永博士の一行
石城地方の地質調査
二十四日から二十七日迄

三月三十日東北帝國大學理學部に開かる々全國地質學大會に出席する早大教授理學博士德永重康氏は途中石城郡に停まり左の日程により常磐地方の地質を調査する

△二十四日日立鑛山見學
△二十五日助川より湯本着、御齊所街道の約一里に亘る第三紀層踏査、同町松柏館一泊
△二十六日磐城炭鑛坑内見學、同夜大野村玉山一泊
△二十七日玉山切場の白亞、層踏査、相馬郡原町に向ふ

尚ほ博士一行は第三世紀中棲息の陸棲肉食獸カルニボラの珍化石を發掘した双葉郡富岡町海岸改修工事現場も實査する筈。

トラックに追突され
バスの乘客重輕傷
蠶業視察團の寄禍
十日澤渡村地内で

石城郡入遠野村、上遠野村、田人組合の三ヶ村聯合の蠶業視察員百十九名は十日午後二時半六臺の自動車に分乘し澤渡村地内を進行中上遠野村字武藤蛭田義技（二二八）の運轉してゐたバスは湯本町遠藤保（二四）の運轉するトラックに追突されバスの乘客入遠野村會議員大谷義次（四九）氏は大腿部を骨折全治一ヶ月を要する重傷を負ひ平町鍛冶町渡邊整骨院に入院したが尚ほ田人村農事實行組合長矢代久太郎（五三）氏は頭面その他に擦過傷を負つた。

小名濱町の
明年度豫算

小名濱町では十一日町會を開き九年度豫算案を附議するが總額二十三萬七千七十三圓で八年度に比すれば約倍額となつてゐる。これは新規事業として町營魚市場の新設費八萬圓を筆頭に築港寄附金四萬圓水産講習所新設寄附金一萬一千五百圓火葬場設置九千六百七十圓都市計劃費六百圓等である、然し斯く尨大して

OB卓球戰
高月新谷君優勝
小檜山氏惜敗す

第五回石城郡下O、B卓球個人選手權大會は十一日午前十時から平稅務署樓上コートに開き三十余名參加、三十歳以上と四十歳以上に分けて競技の結果前者は新谷（高月）後者は小檜山（高月）優勝し兩代表決戰の結果三十歳代表新谷氏優勝した、戰績左の如し

△準々決勝　五回ゲーム
小檜山 3—0 近藤
丹野 3—1 唯野
新谷 3—0 佐久間
熊谷 3—0 佐久間
△準決勝
小檜山（高月）3—0 丹野（日電）
新谷（高月）3—0 熊谷（平第二）
△決勝
小檜山 2
8 16 3 10 10 0
10 18 10 6 8
3 新谷

平商卒業式
十二日擧行

平商業學校卒業式は十二日午前十時擧行矢野校長の誨告、青沼町長の告辭後卒業生三十七名に卒業証書、優等生六名及び五年間皆勤者四名に賞品を授與次いで來賓野崎滿藏氏、父兄總代馬目武之助氏等の祝辭、卒業生總代四家聲君の答辭があつて式を閉ぢた、式後職員と卒業生が晝食を共にした。

古川町長
道路改修陳情

石城郡植田町長で鮫川疏水組合常設委員たる古川傳一氏は出縣し同郡渡邊村字田部地内國道から分岐し松小屋、中釜戸、上釜戸を經へて縣道石川湯本線に通する道路一里廿五町を九年度匡便益尠くないと陳情するところがあつた同線は渡邊村の縦幹線で完成後は鮫川疏水復舊工事の諸材料運搬に

豊間村長の
表彰祝賀會

豊間村長鈴木藤次郎氏は去る二月十一日自治功勞者として縣知事から表彰されたが十四日午後一時から同村小學校で祝賀會をとしての實績をあげてゐたが久保田氏は過般死亡し區長代理欠員中の處、同區は新獨立區で而も新市街地として發展の途上にあり各方面に多事なのと、區長諸橋氏は平焦民金庫の主事に就任したゝめこの方面の要務多端を極めるので區長代理の人選に愼重の態度をとり區長宅で六名の組長が會合協議の結果仲町山田磐麿氏に決定した。

二十八區長代理
山田磐麿氏に決定

平町第二十八區（大町仲町十五町目）は昨年獨立して一區を成し區長に諸橋敬一郎氏區長代理に久保田六五郎氏を擧げ獨立區の實績をあげてゐたが久保田氏は過般死亡し區長代理欠員中の處、同區は新獨立區で而も新市街地として發展の途上にあり各方面に多事なのと、區長諸橋氏は平焦民金庫の主事に就任したゝめこの方面の要務多端を極めるので區長代理の人選に愼重の態度をとり區長宅で六名の組長が會合協議の結果仲町山田磐麿氏に決定した。

菓種屋の店員
商品を盜む

双葉郡浪江町字新町六二藥種商鈴木秀藏方店員安積郡大槻村字中平武二男古川昇（十七假名）は一ヶ月程前に化粧品、藥類等約十二日午前十時から平商業學校卒業式は十二日午前十時擧行矢野校長の誨告、青沼町長の告辭後卒業生三十七名に卒業証書、優等生六名及び五年間皆勤者四名に賞品を授與次いで來賓野崎滿藏氏、父兄總代馬目武之助氏等の祝辭、卒業生總代四家聲君の答辭があつて式を閉ぢた、式後職員と卒業生が晝食を共にした。

小名濱の上空で
操縦者が腦震盪
不時着陸して飛行機大破

各務ヶ原飛行第二聯隊の偵察機卅六號（大澤四郎中尉操縦小松義男軍曹同乘）十一日午前十時四十分頃福島縣石城郡小名濱町海岸一千メートルの上空を飛行中大澤中尉は震盪症を起し操縦不能となり、小名濱海岸に不時着陸したがその際飛行機は大破し小松軍曹は顏面に擦過傷を負つた、大澤中尉は全治一週間を要する見込み飛行機は解體の上聯隊に輸送する事になつた。

▲濱三郡木炭況

平町木炭檢査支所管内二月現在の濱三郡木炭檢査高は石城十萬五千三百七十八俵（昨年二月六萬八千百六十七俵）雙葉十萬三百六十一俵（昨年同期五萬九千六百九十七俵）相馬三萬二千百三十八俵（昨年一萬九千四百七十三俵）合計二十三萬七千八百七十七俵に達し前年の當月より九萬五百俵を增加したが之を等級別にすれば

△特等九百八十俵△一等四萬五千三俵△二等十八萬九千九百二十八俵

で楢炭の十万五千三百五十二俵が最高で雜炭七萬七千五百五十俵が次ぎ柳は二萬五千五百五十俵に過ぎずその他は二萬六千三百五十九俵になつてゐる。

久之濱海岸に
又々津浪來襲
人家三名押し流さる

雙葉郡久之濱町に昨十一日午前十時頃津浪が押寄せ同町仲町海岸のコンクリートの防波堤約八間程決潰尙人家三軒流失した被害者左の如し

仲町吉田芳勝、大森ヨテ、關根仙之助

十二日朝に至るも波浪高く附近民は戰々恟々としてゐる。

前橋の團体
平館で歡迎會

前橋商工會主催の東北地方視察團体二百九十名は塩釜、福島、郡山を經て十九日平町に一泊磐城炭礦、入山炭礦を視察するが平町役場、平商工會、平鐵道關係では聯合して十九日夜平館に於て一行の歡迎會を開催する事になつた、平藝妓屋組合では代表美妓をして磐城音頭、平小唄春の踊を出すと。

● 自信ある製品 ●
ランドセル
惣皮製80錢より 4円50錢まで
新學期の洋品は　中野洋品店　平 二35
平町紺屋町　加納活版所

讀者論壇

—投書歡迎—

警察の要諦

（一）　四倉署　平塚生

不眞面目な私には僭越恐縮な題でありますが、紙上を拜借して所懷の一端を述べさせて頂きませう。

一、最後の勝利は誠實警察官に歸する。

眞面目〳〵職務に眞面目なることは獨り警察官ばかりでなく總ての人に最も大切なことでありますが、殊に警察官には其の緊要なることを痛感致します。

巡査試驗に及第して練習所に入所するにも試驗成績一番で入所するものもありますが末番で入所するものもありますが、卒業するときは果して其の順ではありません。又警察署に配置せられて實務に就けば刑事々務に堪能なものもあり、又內勤、外勤夫々其の人の氣質、能力特殊の技能等により適材を適所に配置せられ、各々其の警察能力を發揮するのが練習所時代の成績と異なり、實社會に於ける實地活動は又各別である、其の人の應用能力の如何でせう。

然れども茲に注意を要するは自己の技能や才氣等に慢心して横着心を起し、不面目になり努力を嫌ふと上司は申迄もなく、同僚間よりも信用を失ひしかばかりの技能や才氣などは何の役にもたゝなくなる。

わけても此れより出世せんとする青年警察官は然りである、迂遠と笑はれ愚直と嘲られやうとも終局の勝利の旗は誠實警察官に歸するのである。

或老巡査曰く「警察官に二種あり、一は優良（實質）警察官に一は要領（形式）警察官である」と申しました。前者は皇國警察官で、後者は外國の警察官でも指したものでせう。

美術調製　紋章
平町字紺屋町
吉田紋店
電話四七六番
太平洋海上火災保險株式會社
平代理店　吉田寅之輔

▼日掛は金十錢以上金五十錢迄あります
▼六ケ月以上御掛けに成れば一ケ年分前貸致します
▼一ケ年御掛けに成れば年五分に相當する配當があります
▼明日と言はず今直ぐ御申込み下さい
平町南町一九
一德合資會社平支店
出張所　四倉町本町九九
代理店　湯本町三函八八

◎有給外務員招聘

商品日掛販賣の權威

吸入用酸素
純度99%
モノサシ
マス
ハカリ
体温器
寒暖計
◎秤ノ取緒（トリヲ）・錘糸（タマイト）・修覆（トリカヘ）致シマス
◎寫眞材料一式
關內藥局
電話四〇番

石炭
コークス
豆炭
氷室
水野石炭商店
平郵便局通り
電話二九九番

かすぼん製造
柿醤油
平町一丁目（電話一四一番）
た物菜用
さつま揚
吉原揚
天ぷら

學校卒業賞品特賣
各學年卒業修期が近づきました。
各種賞品類も全部荷揃致しました。御仕入の絶好期。
卸賣特に御務め勉强致します。
景品賞品類
進物贈答品
恩賜賞與品
記念表彰品
各國產漆器
共榮漆器店
平町三丁目北裏通り
店員募集
本年尋卒　仕着　小使月二圓
同高小卒　仕着　小使月二圓
外交員十八九才より三十才迄

一、派出多忙に付會員募集
一、本會は各御家庭の便宜を計り御手不足の場合に臨時に御手傳に上ります
妊產婦や患者の附添　派出料一日分
家庭雜用一切　金五拾錢
遠近に不拘堅實なる婦人を派出させます
福島縣石城郡平町八幡小路八三（電呼九三）
會主　鵜沼隆子
◎寄宿の便あり

服倉小
賣出し
平町　正札堂洋服店　電四三六
小學生　一圓
中小學生　一圓六十錢
中學生　三圓
特製A　三圓五十錢
紺ヘル　三圓二十錢ヨリ

た正月の鮪とかきとこのデーは多大の御引立に預り厚く御禮申上升
又只今よりデーを初め升何卒以上の御引立の程御願致升
—（十八日マデ）—
サシミ　山盛御一人前　二十五錢
でッか巻　〃　二十五錢
いぎまなべ　〃　二十五錢
ねすなべ　〃　二十錢
鮪　〃　二十錢
かきなべ　〃　二十錢
百めし　〃　二十五錢
かき酢　〃　二十錢
フライ　〃　二十五錢
平二丁目　平警察署通り
魚清食堂部
電話六三三

生スッポン販賣
シンゾウの人、ロクマクの人
ヒンケツ病の人、神經衰弱の人
ヒヱビヨウ・痔の人、胸病の人
手足のシビレの人
滋養の親玉、血となり肉となる
生スッポン壹疋金弐圓より有ます
平町堂ノ前（訓盲院前）
岡野スッポン販賣店

東神火災保險株式會社
東京動產火災保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所　福島縣平町白銀町一　電話三二九番　二九五番
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目

內科　小兒科　（入院應需）
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平四五〇七番